



町長日誌

No.264

町長日誌の第 264 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

10月16日（木曜日）AM9:00

おはようございます。朝夕すっかり寒くなりストーブが必要になりましたね。町長室から見える山並みも黄色が目立つようになりました。農協青年部主催の「大収穫祭」が11日に開催されましたが今年の畑作物は総じて良くない作況です。一方、秋サケもこれまでに無い不漁となりそうです。ホタテも小さな貝柱が多く、稚貝の中間育成施設への移し替えも水温が高すぎて作業が遅れています。この地域は台風などの災害もなく本当に穏やかな春から夏でしたが6月からの異常な高温と少雨が農業や漁業に大きく影響していると思われる。

春から本格的な建築工事が始まった「認定こども園」は順調に工事が進み鉄骨の骨組みと屋根が出来上がりました。暑い中での作業が続く施工業者の皆さんもご苦労されたことと思います。年内には壁など外側の施工を終わらせる予定です。来年6月までには全ての工事を終え、10月1日（木曜日）開園の予定です。

9月4日（木曜日）

昨日、敬老会が開催され多くの皆様にご参加いただきました。欠席されたお祝い金該当者の皆様にはコロナ禍以降降口座振り込みをお願いしていましたが、今年から以前のように私と担当課長の二班で訪問してお渡しすることにしました。ご家庭を回るのはなかなか大変ですが、高齢者の皆さんのお顔や生活状況なども短い時間ですが把握することが出来ることから今後も続けたいと思っています。

9月22日（月曜日）

夏祭りの花火大会で大変にお世話になっています(株)ニトリの似鳥昭雄会長を訪問してお礼のご挨拶をしました。会長は海外出張から戻られたばかりで少々お疲れのご様子でしたが、約1時間、本町の観光やまちづくりなどを中心に懇談させていただきました。来年もニトリ花火大会へのご支援をお約束いただきました。感謝、感謝です！

10月2日（木曜日）～4日（土曜日）

全国の国民健康保険病院・診療所の医師・医療従事者、保健師や首長など関係者が一堂に会して研究発表や意見交換などを行う「全国国保地域医療学会」が和歌山市で開催されました。和歌山市には関西空港からリムジンバスで40分と大阪市よりも近い距離にあります。高野山などの山また山を抜け市内に入りますが、産業の衰退が激しく公共施設は立派なのですが商店街はかなり古びた感じで、乗ったタクシーの運転手さんが盛んにぼやいていました。紀州徳川家の和歌山城があり過去には40万人もいた和歌山市ですが観光だけでは人口減少が抑えられず、特に農村部の高齢化は驚くほどで、意見交換に出席された和歌山県下の市町村では高齢化率60%が当たり前の状況で、その中で行政を運営し病院を経営することはとても大変だが、将来への展望が描けないことが何よりも大変とのことでした。因みに本町の高齢化率は36%です。

この「町長日誌」もお陰様で264号となりました。2003（平成15）年9月が第1号ですから丸22年が経ったこととなります。出来るだけ解りやすく私の仕事や町政の内容をお伝えしたいと思い貴重な広報誌の1ページを拝借していますが、これからも任期中は継続していききたいと思いますので宜しくお願いします。さて、19日中学校学校祭、26日は興部・沙留小学校学芸会と子供達の発表が続きます。毎年、子供たちの成長を見られるのが楽しみです。カゼなどに気を付けて素晴らしい発表を期待しています。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。